FIWC
Friends International Work Camps
関西委員会

定例委員会報告　2001.9

参加者：志賀純子、藤山恭子、福田きよ子、松本モト、宮田武宏、柳川義雄、劉成道、細見大悟、吉見京樹、佐藤里香、戸張岳陽、矢部后代、福田まや、加納さちあ、中西章文、青山哲也、以上16名　（2001年9月15日交流の家にて）

○愛生園夏祭り

国内ハンセン病療養所（岡山県）　7月31日

今年も例年通り、お手伝いに行って来ました。やぐら立て、提灯付け、福引きの景品の荷造り等、準備を手伝い、祭り中はチンドン部隊を作って園内を回りました。手足が不自由な方や、目が不自由な方に、出前で音楽を届けようと病棟まで届けに行きました。花火は印象的だった。勢い余って桟橋から飛び込んで職員の人に怒られた人もいたそうです。（青山哲也）

○光明園夏祭り

国内ハンセン病療養所（岡山県）　8月2日

今年は、わなげとヨーヨー釣りをしました（O157が流行るまでは、たこ焼きなどを焼いて配っていたのですが）。橋ができてからは、園外からもたくさんの人が行き来出来るようになったので、職員さんの子供など、以前にはみられなかった風景が見られるようになりました。お祭りがなくなるまでずっと続けていきたいと思っています。（福田きよ子）

○韓国キャンプ

8月4日～6日　準備キャンプ

大倭の草刈りをやりました。（19日の大倭の大掃除に参加できないので）大倭の方たちも大変喜んでくださいました。

8月8日～19日　韓国キャンプ

藤山：韓国尚州市の誠心農園（ソンシムオンオン）でFIWCとジョナヘによるキャンプを行いました。FIWCの参加者は約35人、ジョナヘの参加者は約70人程度でした。FIWCの年齢層は中学生から70代までと幅広く、年齢層を広げるという目標は達成出来ました。

志賀：ワークの内容は、300mと100mの道路舗装と家庭ワークをしました。300mの道路はならし作業をした後、レミコン車からコンクリートを流し込んで、それをならしました。サインもしてきました。100mの道路は手こねでコンクリートをこねました。家庭ワークでは集卵作業をして、卵についた汚れをカッターで落としました。養鶏が盛んな村なので、ゆで卵を毎日4個も食べました（恭子）。一日雨が降ったので、その時にはそれまでの疲れをいやしゆっくりできました。ワーク内容もそれほどきつくなかったので、ゆとりのワークという目標も達成出来ました。

藤山：家庭訪問では、村の人とより仲良くなるという目的で同メンバーで、同じ家を2回訪問しました。とても仲良くなったグループもありました。茶話会と、最終日のソンシムの夜では、村の人とともにお酒を飲んで、タンポポを振り付きで歌いました。キャンプ終了後はテジョンの忠南大学で反省会をし、その後打ち上げをして、皆無事に帰ってきました。

宮田：まやはどうやったん？教育リーダーやったんやろ？

まや：楽しかった！教育で陶芸をしたんだけど、韓国の炭には着火剤が入っているようで、ぽんぽんとポップコーンのように焼き物がはじけた。

柳川：今回の誠心農園は96年のキャンプ地と同じでしたが、鶏の数が2倍に増え、25万羽に達していました。誠心農園がハンセン病の村であったということを消し去りたいという村側の考えから、現在は外部から養鶏家を5世帯受け入れています。しかし、周辺の人の印象では、誠心農園がハンセン病の村であるという印象はなかなか拭いがたいようです。

藤山：文集作ろうね。みんな書いてね。（藤山恭子）

○大倭弥栄おどり

8月25日

松本、福田：ヨーヨー釣りを交流の家から出し物として出しました。

○すすむ＆すすむフォーラム

9月22日（土）10：00～1600　東京発明会館　03-3502-5499

すすむ＆すすむフォーラムが死ぬことになりました。ゲストは谷川俊太郎、そして、徳永進、浜田晋。出棺にご臨席下さいますようにお願いいたします。

申し込み　浜田クリニック

すすむ＆すすむフォーラム実行委員会

FIWC関西委員会 定例委員会報告

○夢織り猫の会キャンプ

9月29日（土）10：00a.m.～9月30日5：00p.m.

ところ：三重県四日市市伊倉1-1-17　夢織り猫の会

ワーク：外壁ペンキ塗り、電気配線、トイレ窓付け、ベンチづくり。三重の四日市に自主生活をする障害者山口さよさん中心に様々な人たちが気軽に集まれる空間づくりを目指しています。工事は完成に近づいています。どこかで家づくりに参加してください。（柳川義雄）

○フォーラムのお知らせ

ハンセン病　-差別と共生を考える-　森元美代治講演

「人間復帰への願いと私の闘い　-ハンセン病を生きて-」

日時：9月29日（土）　13時開場、13：30開演

場所：代々木オリンピックセンター　センター棟304号室（小田急線「参宮橋」駅下車、徒歩5分）

○新しいワークキャンプを！

ここ何年か韓国キャンプをやることが半ば年中行事のようになっています。もちろん、韓国キャンプをやることの価値もあると考えています。でも、日本で新しい形のワークキャンプをうち立てるのもいいんじゃないかと思うのです。そこで、私は幅広い世代の人々が集まれる場を作りたいと考えています。

自分がヤマギシ会で3年間過ごして学んだことがあります。それは、自分の思いだけでは物事が進むわけではないということです。しんどくても野菜に水をやらなくてはなりません。牛の糞だしをしなければ、牛たちは糞まみれになってしまいます。

今は農業と身近に関わることはなかなか難しいと思います。そこで、農業の体験を通じて、生き方を考えていけたらな、と考えたのです。今はまだ妄想の域を出ませんが、実行に移すつもりです。今回報告したのは、新しい動きを考えていることを伝えたい、という思いからです。みなさんの知恵を集めて実行に移したいです。（宮田武宏）

○年会費納入のお願い

振り込み用紙を同封しますので、年会費（3,000円）を振り込んで下さい。（志賀純子）

○カンパのお願い

最近パソコンの調子が悪いです。今回も4時まで格闘して、その結果、このように手書きとなりました。パソコンのメンテナンスのために、カンパをどうかお願いします。（志賀純子）

○イベント情報

10月28日（日）神戸市北区のうちの田園にて、収穫祭をやります。西宮すずかけ作業所バンドの演奏もあり。取り立ての新米で秋味（麦酒）を飲もうぜ！

11月11日（日）第12回になりました。高齢者、障害者支援のフリーマーケット＆コンサート「フェスタin湊川」があります。神戸市兵庫区湊川公園に同上バンドほか障害者バンドいろいろでるぞ！

○コラコラム

報復攻撃の輪廻をうち切れ！

罪のない人は殺されてはならない

罪のない人は殺してはならなり

今こそ銃を鍬にもちかえて共に土を耕す時

今こそ銃をスコップにもちかえて共に平和の種をまく時

これ以上罪のない人は殺されてはならない

これ以上罪のない人は殺してはならない

ワークキャンプの真価が問われる秋（とき）

（加納さちあ）

次回の定例会は10月20日（土）19:00～

交流の家にて

次回定例委員会の担当は戸張岳陽です。

今月の担当は藤山恭子

文責は志賀純子、宮田武宏、まや でした。

Special Thanks to 劉成道＆佐藤里香

FIWC関西委員会　委員長　入澤隆一

FIWC関西委員会

631-0042 奈良市大倭町2-33 交流の家

※PDF版では、個人の電話番号などの連絡先を掲載しておりません。必要な場合は下記までメールにてお問い合わせください。

PDF版制作：茂木 亮　mog@mognet.org

モグネット
www.mognet.org
ワークキャンプの写真が満載！
ハンセン病関連の書籍も充実！
ワークキャンプ・イベント一覧アリ